

11月12日 当尾（とうの）ハイキング・石仏巡り

佐々木康治

山行名	(例会) 当尾ハイキング・交流部と共催
ルート	JR 加茂駅～岩船寺～浄瑠璃寺～JR 加茂駅
日時	2023年11月12日(日)
参加者	CL: 佐々木 SL: 富田 男性: 川田・森本・竹原・藤村・吉川・西川・中田 女性: 幾田・米田・上田・大林・桑原・蒲田・鳥山・伊藤(典)・竹原・高橋・岡本・山本・伊藤(多)・大西・川田・牧之瀬 m.9 f.16 total:25
コース 時間 概略	8:30 加茂駅 8:45 → 六体地藏 → 10:30 岩船寺(昼食) 12:20 → 弥勒の辻 → わらい仏・ねむり仏 → 摩崖仏 → あたご灯籠 → 首切地藏 → 大門石仏群 → 13:30 浄瑠璃寺(解散)
<p>天気予報は<一日中曇り、雨の心配はない>とのこと、安心していただけただが空はどんより、時折小雨に見舞われる。異常気象の熱気もおさまり、昨日ぐらいいから最高気温も15度前後とハイキングには好適、これなら汗をかくこともなく足取りも軽いだらう。</p> <p>8:30にJR加茂駅集合、平均年齢65.1、男性9 女性16の精鋭パーティ、ここ数年の間に入会した新会員は、ベテラン会員の澁漉とした表情に刺激を受けること大。各自で軽い準備運動、8:45に牧歌的な幅広い道路を歩きだす。沿道の畑には様々な野菜が育ち、食通のメンバーは興味津々、「キウイだ」「グミだ」「渋柿だ」「大根だ」・・・とその都度歓声があがる。道路脇の店には地元の旬の野菜、自家製の漬物が吊り下がり、「ワー、安い!」「ワー、おいしそう!」とみんな目がキラキラ、次々と荷物が増えていく。</p> <p>10:20に岩船寺(がんせんじ:¥500)到着。神々しい金箔の阿弥陀如来坐像は日本最古とか、厳めしい四天王立像に守られている。裏山を進むと貝吹岩があり、急に視界が開け、南山城一帯を鳥瞰できる絶好の展望台、暫し忘我の境地に浸る。三重塔の裏手の広場で昼食、カキ、リンゴ、ブドウの差し入れ、そして交流部からの極上のイタリア製クッキーに頬が落ちる。西川さん主導のじゃんけん大会では日ごろの行いの良し悪しにかかわらず強運の人たちが見事景品をゲット。</p> <p>路傍の仏様たちの表情がいい。童顔の「わらい仏」の微笑みが心を和ませる。13:30頃浄瑠璃寺門前で解散、バスの発車時間まで浄瑠璃寺(庭園は無料)で自由散策、宝池から見上げる国宝三重塔は今まさに色づき始めた紅葉を背景にあまりにも美しすぎる。</p> <p>平安時代の終わりごろ、都から離れたこの地に多くの修行僧が集まり、三重塔、五重塔、十三重石塔、五輪石塔などの尾根が建ち並び「塔尾」と呼ばれていたのが「当尾(とうの)」の地名の由来。</p> <p>先導してくれた蒲田さんと森本さん、フォトグラファーの富田さん、おいしいお菓子を準備してくれた交流部の大西さん、高橋さんらに感謝。共に歩いた山仲間たちにとってノンビリとした楽しい一日であったと確信します。 不尽</p> <p>昨年、私が企画した当尾ハイキング・石仏巡りが交流部主催の定例行事に採用され、山行部と連携、協力して実行できたことに感謝します。 富田</p>	

当尾ハイキングに参加して

大西 良子

かつて何度か訪れた岩船寺・浄瑠璃寺。

今回は JR 加茂駅から田園風景を満喫しながら当尾の里を訪れました。

歩いていると時折出会う石仏群、当尾の里はこんな所ですよと私たちに語りかけているようでした。また、道端で木や板に吊り下げられた地場の野菜類を選び買い物をするのも楽しいひと時となりました。岩船寺で昼食後のティタイム、交流部からの素敵なクッキーをいただき、途中で雨となりましたが、賢歩・健歩と楽しいハイキングでした。



岩船寺にて



ハイキングを歓迎